

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
18	☐	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO, エコアクション21などの認証は取得してはいるが、主要な項目についてはリスト化して把握し、環境負荷削減に努めている。			3.9			6	7						12	13.3	14	15					
	☐	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・定期的開催している勉強会、安全衛生委員会などで情報を開示して、共有化に努めている。													12.6								
	☐	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・再生可能エネルギーを直接は利用してはいるが、再生可能エネルギーを含んだ電力は使用している。								7.2							13						
	☐	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・バイオマス素材(森林由来、草由来)を積極的に使用し、非化石原料化への取り組みを促進している。 ・多くの商品は(一財)非木材グリーン協会(一財)日本有機資源協会の認定商品です。														12.2	13	14	15				
公正な事業慣行	☐	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・コンプライアンスガイドブックを作成して、社員への周知を図っている。																		16	16.5		
	☐	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・コンプライアンスガイドブックを作成して、社員への周知を図っている。																			16		
	☐	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許、商標の取得を積極的に行い、維持管理を行っている。										8.2	9										
	☐	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報取り扱い規定を策定して、適切に管理を行っている。																				16	
	☐	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・自社使用主要原材料のサプライチェーンを把握している。																				16	
	☐	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】コンプライアンスガイドブックを作成して、サプライチェーン各社と情報の共有化を図る予定である。					5					8		10		12	13	14	15	16	17		
	☐	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・直接消費者にわたる商品については、商品送付時に取り扱い中止書を同封している。ホームページにおいても注意喚起を行っている。																					
製品・サービス	☐	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・品質管理責任者を選任し、具体的には定期的開催する品質会議で対応している。												9									
	☐	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・環境に配慮した商品開発(化石由来素材からバイオマス素材への切り替え)を積極的に行い、製品の販売を実施している。さらに拡販中である。								6						12	13	14	15				
	☐	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・環境対応(地球温暖化対応など)を商品開発の大きな目標として掲げて開発を進め商品化を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
32	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・工場からの騒音、排水、水質に関するデータを地域に開示している。 ・地域からの雇用を積極的に進めている。				4					9		11	12		14	15		17		
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・近隣の養護学校の生徒に、仕事体験の機会を設けて 実社会への就業のステップとして役立てていただいている(約2週間) ・工場周辺での清掃活動を行っている。				4							11				14	15		17	
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地産地消、地産外販)している	チャレンジ	・【予定】東信特産のクルミを素材の一部としての活用を検討する。									8	9		11	12	13					
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・社訓、行動指針、年間スローガンを設定し、社内で共有している。 ・全員参加の年初式で、年間目標を明確にしている。									8	9								17	
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・コンプライアンスガイドブックを作成して、社員への周知を図っている。																		16	
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・安全衛生委員会の積極的な活動 品質保証責任者による品質の維持など行っている。																		16	
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・定期的に部長は、社員面談を行い要望などの聴取を行い、適切に対応している。																		16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・生産工程、化学物質の取り扱いに関するリスクアセスメントマニュアルを作成し 定期的にアセスメントを実施しリスクの削減に努めている。																		16	
40	□	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・法令順守、環境対応などに積極的に取り組んでいる。 ・地域での雇用創出に努めている。																			16
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・BCPの一環として社員のスキルマップを作製して 早急な工場再開の判断の一つとしている。 ・工場の早期再開マニュアルを作成している。										9		11			13 13.1			16	
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・経営会議で議論を進めている。									8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)